

1. 2024年3月期 決算概要
 2. 2025年3月期 通期業績見通し
- ## 会社概要・Appendix

【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

1. 2024年3月期 決算概要

2. 2025年3月期 通期業績見通し

会社概要・Appendix

2024年3月期 エグゼクティブ・サマリー

経営環境

- ▶ 中国経済の低迷を反映し非鉄相場は当期を通じて低水準で推移
- ▶ 日系完成車メーカーの国内生産が回復し関連取引は増加
- ▶ IT端末機器、特にハイエンドスマホの需要低迷トレンドが響き、半導体製造・実装装置関連の出荷は伸び悩み
- ▶ 車載向けは好調な一方、伸銅品やアルミ圧延品の出荷量は減少が続く

2024年3月期 決算

売上高 : **174,901百万円** (前期比△1.9%)

営業利益 : **5,463百万円** (同△34.9%)

営業利益率 : 3.1% (同△1.6pt)

経常利益 : **5,447百万円** (同△33.4%)

経常利益率 : 3.1% (同△1.5pt)

当期純利益* : **1,598百万円** (同△70.9%)

特別損益 △1,620百万円の影響による

・特別利益 530百万円 (投資有価証券売却益等)

・特別損失 2,150百万円 (中国での貸倒引当金、子会社構造改善費用等)

2025年3月期 業績見通し

売上高 : **185,000百万円** (2024年3月期比+5.8%)

営業利益 : **7,200百万円** (同+31.8%)

経常利益 : **7,200百万円** (同+32.2%)

当期純利益* : **4,500百万円** (同+181.6%)

配当政策 株主還元策

期初予想より増配を実施予定

中間配当27円 + 期末配当28円 = **年間55円**

*当期純利益=親会社に帰属する当期純利益

業績概要（2024年3月期）

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	対売上高比率 (%)	増減率 (%)	2024年3月期計画値（通期）	
					通期見通し (2Q修正後)	進捗率 (対修正後見通し)
売上高	178,333	174,901	-	△ 1.9%	177,000	98.8%
売上総利益	25,075	22,921	13.1%	△ 8.6%	23,700	96.7%
販売費及び一般管理費	16,682	17,457	10.0%	+4.6%	17,500	-
営業利益	8,393	5,463	3.1%	△ 34.9%	6,200	88.1%
経常利益	8,176	5,447	3.1%	△ 33.4%	6,200	87.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,488	1,598	0.9%	△ 70.9%	4,216	37.9%
1株当たり 当期純利益（円）	182.40	53.05	-	-	139.89	-
EBITDA（参考）	13,245	10,253	5.9%	△ 22.6%	11,030	93.0%

*1 当期純利益を指す

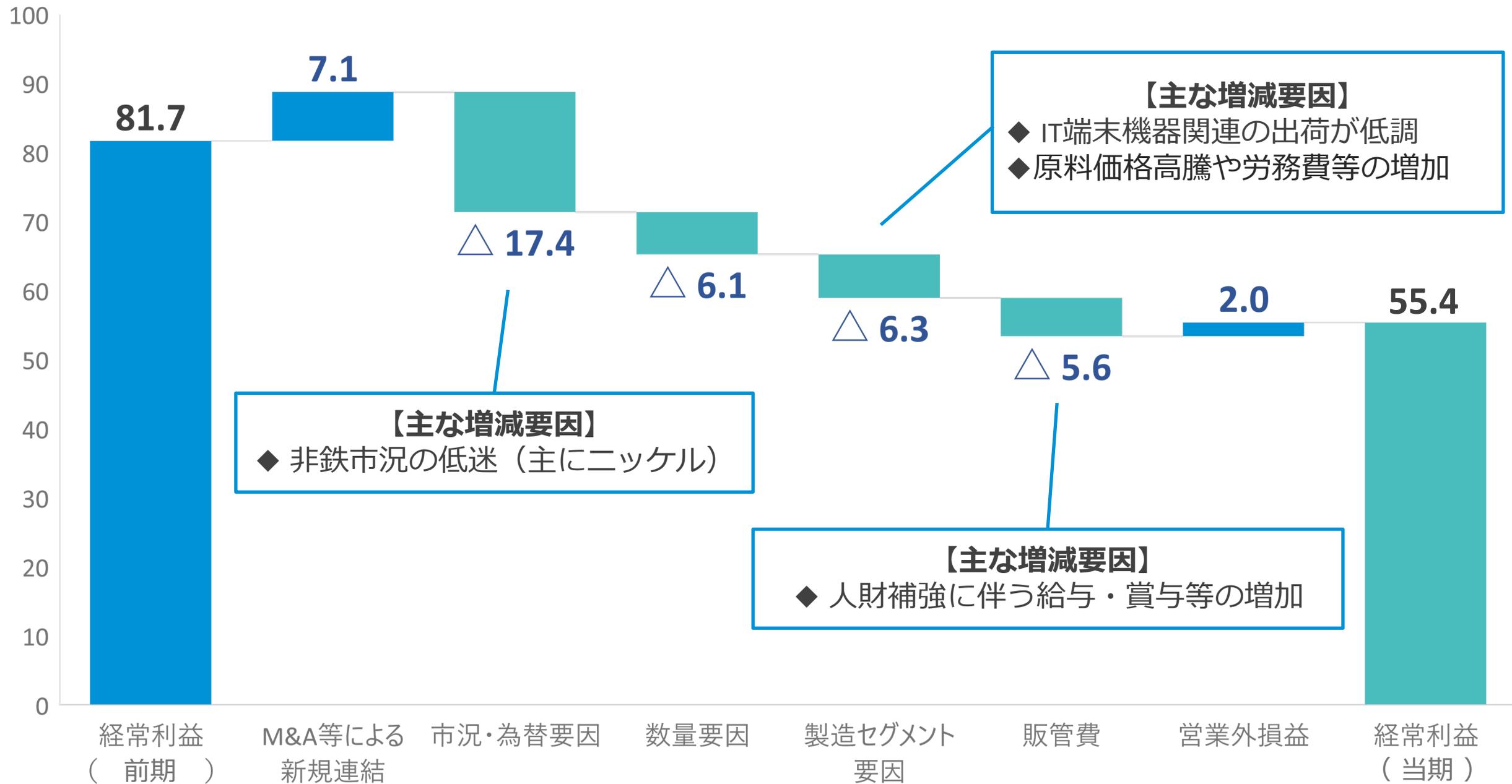
*2 1株当たり当期純利益を指す

EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

経常利益の増減分析（前期比）

※1 小数点第1位以下は切捨表記

※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある



セグメント別業績（2024年3月期）

(百万円)		2023年3月期	2024年3月期	構成比	増減額	増減率	
商社流通	電子	売上高	41,418	30,144	17.2%	△ 11,274	△ 27.2%
	機能材	セグメント利益	3,601	1,740	32.0%	△ 1,860	△ 51.7%
	アルミ銅	売上高	65,861	70,561	40.3%	+4,700	+7.1%
		セグメント利益	1,171	300	5.5%	△ 870	△ 74.4%
	計	売上高	107,279	100,705	57.6%	△ 6,573	△ 6.1%
		セグメント利益	4,772	2,040	37.5%	△ 2,731	△ 57.2%
		利益率	4.4%	2.0%	-	△ 2.4pt	-

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

	売上高	セグメント利益
電子機能材	<p>主にニッケル市況の大幅な低迷と客先の在庫調整の長期化により売上高は減少</p> <p>【ニッケル市況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底打ち感はあるものの、想定レートより低位で推移 【車載電池用材料】 ・自動車生産の回復に伴い 出荷が回復 	<p>下記の理由により減益</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高の減少 ・ ニッケル市況の低迷による粗利率低下 ・ 主に全社的な人的資本投資の増加による販管費の上昇
アルミ銅	<p>主に自動車生産の回復に伴う関連取引の出荷増により売上高は増加</p> <p>【アルミ／銅市況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3Q以降も対予算レート比低位で推移 【アルミ原料】 ・ 自動車回復により取扱数量は増加 	<p>下記の理由により減益</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルミ／銅市況の低迷による粗利率低下 ・ 主に全社的な人的資本投資の増加による販管費の上昇 ・ 一部製品取引における金利負担が増加

セグメント別業績（2024年3月期）

(百万円)		2023年3月期	2024年3月期	構成比	増減額	増減率	
製造	装置材料	売上高	41,783	42,672	24.4%	+888	+2.1%
		セグメント利益	998	955	17.6%	△ 43	△ 4.4%
	金属加工	売上高	29,269	31,523	18.0%	+2,254	+7.7%
		セグメント利益	2,416	2,465	45.4%	+49	+2.1%
	計	売上高	71,053	74,196	42.4%	+3,142	+4.4%
		セグメント利益	3,414	3,421	63.0%	+6	+0.2%
		利益率	4.8%	4.6%	-	△ 0.2pt	-
(セグメント間利益消去等)		△ 10	△ 14				

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

	売上高	セグメント利益
装置材料	<p>電動工具/家電等向けの出荷減の影響を受けたが、自動車向け出荷の回復もあり、売上高は僅かに増加</p> <p>【電動工具/家電等向けモーター部品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に中国での半導体や住宅設備等の需要が減少したため、出荷減 <p>【自動車関連装置/材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車生産の回復に伴い、関連部品の出荷増 	<ul style="list-style-type: none"> ・原料価格や労務費等のコスト増を販売価格に転嫁しきれず 減益
金属加工	<p>主に自動車向け出荷の回復に加え、新規子会社の連結により売上高は増加</p> <p>【半導体製造装置向け部品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堅調 <p>【半導体実装装置向け部品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終製品であるIT端末機器の需要低迷により不調 <p>【自動車関連部品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車生産の回復により精密金属プレス部品の出荷量が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・増収により 増益

グループ会社別取扱品目一覧

※売上総利益ベース（前期比）
YoY 好調：○ YoY 不調：×

	取扱い グループ会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他
電子機能材	<ul style="list-style-type: none"> アドバンストマテリアルジャパン ANDEX 	<ul style="list-style-type: none"> EV/FCV部品材料 ○ 車載電池用材料 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体各種材料 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯機器端末部品材料 × IT機器部品材料 各種電池材料 × 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊鋼素材（レアメタル）× ※ニッケル、モリブデン等
アルミ銅	<ul style="list-style-type: none"> 林金属 アルコニックス・三高 アルミ銅センター 平和金属 	<ul style="list-style-type: none"> 電装部品 × 自動車構成部材 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> リードフレーム用銅条 × 	<ul style="list-style-type: none"> コネクタ部品 プリント基板部品 	<ul style="list-style-type: none"> 建築資材 × 電気設備部品（ブスバー） アルミ缶材 熱交換器用素材（チタン他） 医療向けチタン展伸材 空調機器向け材料 × （アルミ圧延品・伸銅品）
装置材料	<ul style="list-style-type: none"> Univertical 東海溶業 マークテック 東北化工 富士カーボン製造所 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車構成部材用めっき材料 金型用溶接材料 × ブレーキパッド用カシュー樹脂 ○ 自動車生産ライン向け 非破壊検査装置／化成品 電装部品用モーター部品 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体用めっき材料 × 	<ul style="list-style-type: none"> 電波吸収体 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 非破壊検査装置／検査用化成品 マーキング装置 電気設備部品（ブスバー） 電動工具／家電等向けモーター部品 ×
金属加工	<ul style="list-style-type: none"> 大川電機製作所 大羽精研 富士プレス FUJI ALCONIX Mexico 富士根産業 ジュピター工業 ソーデナガノ 	<ul style="list-style-type: none"> パワートレイン向け部品 ○ EV車載電池向け部品 ○ 自動車試作部品 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 製造装置向け部品 × 実装装置向け部品 × 	<ul style="list-style-type: none"> コネクタ端子部品 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 航空機用部品 ○ 空調機器向け部品

連結貸借対照表（2024年3月期）

- ▶ 流動資産／有利子負債*：CCC*の改善とCMS*活用によるグループ資金効率化を推進した結果減少
- ▶ 固定資産：中国広東創富に対する売掛債権（流動資産）を、長期未収入金（固定資産）へシフトしたことにより増加
- ▶ 純資産：株高を受けた有価証券評価差額金ならびにドル高円安進行による為替換算調整勘定の増加により「その他包括利益合計」が増加

資産の部 (百万円)				負債・純資産の部 (百万円)			
	2023年3月期	2024年3月期	増減額		2023年3月期	2024年3月期	増減額
流動資産	144,212	132,549	△ 11,662	負債	128,843	116,540	△ 12,302
現金及び預金	26,993	21,471	△ 5,521	流動負債	100,348	89,693	△ 10,654
売上債権	62,483	56,994	△ 5,489	仕入債務	40,910	44,768	+3,857
棚卸資産	49,403	49,223	△ 180	短期借入金等	50,920	36,872	△ 14,047
固定資産	47,677	50,340	+2,662	固定負債	28,494	26,846	△ 1,648
有形固定資産	31,993	31,737	△ 255	長期借入金等	20,904	18,327	△ 2,577
無形固定資産	3,753	3,088	△ 664	純資産	63,047	66,350	+3,302
投資その他資産	11,931	15,515	+3,583	株主資本	54,325	54,304	△ 20
総資産	191,890	182,890	△ 9,000	その他包括利益合計	8,150	11,398	+3,247
				負債及び純資産 合計	191,890	182,890	△ 9,000
(前期末)	自己資本比率	(前期末)	ネットD/Eレシオ				
32.6%	35.9%	0.7	0.5				

*有利子負債 = 短期借入金 + CP + 1年以内支払長期借入金 + 1年以内支払社債 + 社債 + 長期借入金
 *CCC = キャッシュ・コンバージョン・サイクル
 *CMS = キャッシュ・マネジメント・システム
 ※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

連結キャッシュ・フロー（2024年3月期）

- ▶ 営業CF：運転資金の減少により大幅増
- ▶ 投資CF：グループ会社の設備投資等
- ▶ 財務CF：長期および短期借入金の返済
- ▶ フリーCF：営業CFの増加により大幅増

(百万円)	2023年3月期 4Q	2024年3月期 4Q	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	25,944	25,814	△ 129
営業C/F	226	15,215	+14,988
運転資本の変動等	△ 8,472	7,282	+15,755
投資C/F	△ 7,045	△ 2,622	+4,422
有形・無形固定資産取得等	△ 4,790	△ 3,444	+1,346
フリーC/F	△ 6,818	12,592	+19,411
財務C/F	5,896	△ 19,281	△ 25,177
換算差額	791	594	△ 197
現金及び現金同等物の増減額	△ 129	△ 6,093	△ 5,963
現金及び現金同等物の期末残高	25,814	19,721	△ 6,093

1. 2024年3月期 決算概要
 2. 2025年3月期 通期業績見通し
- 会社概要・Appendix

2025年3月期 通期業績見通し

(百万円)	2024年3月期 実績 (A)	2025年3月期 通期見通し(B)	増減額 (B)-(A)	増減率 (%)
売上高	174,901	185,000	+10,098	+5.8%
売上総利益	22,921	25,800	+2,878	+12.6%
販管費及び一般管理費	17,457	18,600	+1,142	+6.5%
営業利益	5,463	7,200	+1,736	+31.8%
経常利益	5,447	7,200	+1,752	+32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,598	4,500	+2,901	+181.6%
1株当たり 当期純利益 (円)	53.05	149.31		
EBITDA (参考)	10,253	11,700	+1,446	+14.1%
1株当たり 配当金 (円)	55	58		

【参考】 2025年3月期想定レート

Al	US\$ 2,200/MT	Cu	US\$ 8,600/MT	Ni	US\$ 16,500/MT	為替	145円/US\$
----	---------------	----	---------------	----	----------------	----	-----------

2025年3月期 通期業績見通し（セグメント別）

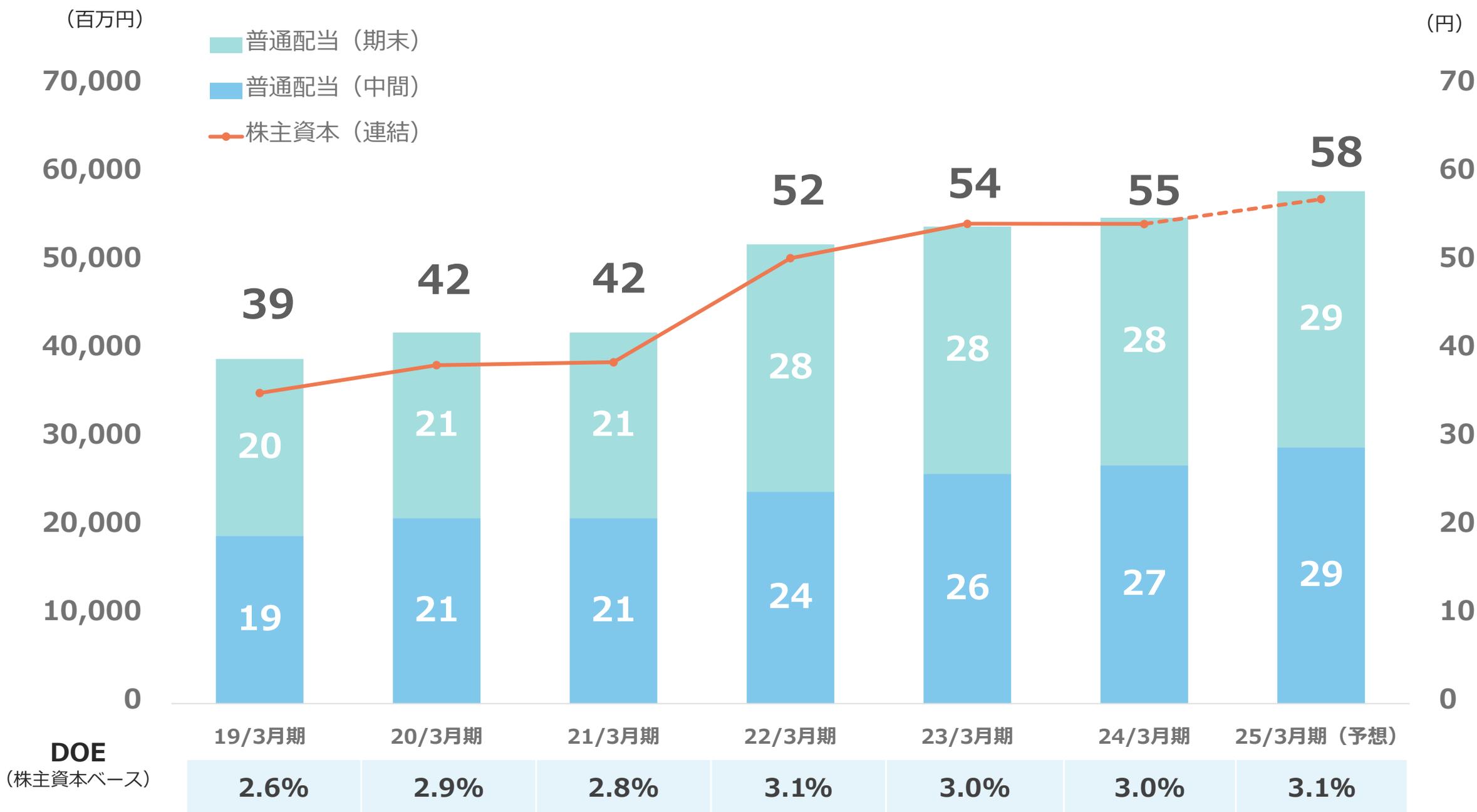
- ▶ 電子機能材：半導体やIT端末機器向け売上の回復に加え 在庫圧縮等の進展により増益見込
- ▶ アルミ銅：非鉄市況の回復に伴う売上増の他 価格転嫁やコスト改善等の効果により増益見込
- ▶ 装置材料：主に国内自動車生産の回復に伴う売上の回復により 増益見込
- ▶ 金属加工：自動車・半導体・IT端末機器向け売上の回復に加え 一部子会社のコスト改善で増益見込

(百万円)		2024年3月期 実績	2025年3月期 見通し	構成比	増減額	増減比率	
商社流通	電子機能材	売上高	30,144	35,000	18.9%	4,855	+16.1%
		セグメント利益	1,740	2,200	30.6%	459	+26.4%
	アルミ銅	売上高	70,561	70,000	37.8%	△ 561	△ 0.8%
		セグメント利益	300	400	5.6%	99	+33.2%
	計	売上高	100,705	105,000	56.8%	4,294	+4.3%
		セグメント利益	2,040	2,600	36.1%	559	+27.4%
		利益率	2.0%	2.5%	-	-	+0.4pt
製造	装置材料	売上高	42,672	45,000	24.3%	2,327	+5.5%
		セグメント利益	955	1,300	18.1%	344	+36.1%
	金属加工	売上高	31,523	35,000	18.9%	3,476	+11.0%
		セグメント利益	2,465	3,300	45.8%	834	+33.8%
	計	売上高	74,196	80,000	43.2%	5,803	+7.8%
		セグメント利益	3,421	4,600	63.9%	1,178	+34.5%
		利益率	4.6%	5.8%	-	-	+1.1pt
合計	売上高	174,901	185,000	-	10,098	+5.8%	
	経常利益	5,447	7,200	-	1,752	+32.2%	
	利益率	3.1%	3.9%	-	-	+0.8pt	

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

株主還元策

期末配当を直近予想より1円増額、年間配当額を55円に引き上げ



※2024年3月期末配当金は2024年6月開催予定の第43回定時株主総会に付議予定です。

実額で安定的な株主還元実現のため DOEを採用

DOE：株主資本配当率（1株当たりの年間配当額÷1株当たりの株主資本 x 100）

（「株主資本」の定義：資本金+資本剰余金+利益剰余金）

1. 2024年3月期 決算概要
 2. 2025年3月期 通期業績見通し
- 会社概要・Appendix

アルコニックスのプロファイル

専門商社が持つ知見・情報力を活かして付加価値の高い製造業に進出
原料・製品の流通から加工製品の製造を行う

非鉄金属の総合ソリューションプロバイダー

非鉄金属専門商社として創業

-総合商社からMBO・独立した専門商社として出発

製造業のM&Aを開始

-専門商社M&Aを経て、業容拡大とさらなる成長のため製造業M&Aを開始
-既に知見のある領域でM&Aを行い既存事業の深耕と新規事業の模索を図る



Aluminum
Copper
Nickel + X

現在の「アルコニックス」

「非鉄金属専門商社ビジネス」 + 「金属加工・装置材料の製造業ビジネス」

製造業における付加価値向上とさらなる投資で事業を拡大・成長

- 付加価値の高い金属加工・装置関連のグループ企業群を形成
- 有望な市場である「自動車」「半導体」「電子材料」においてさらなる事業を拡大
- 「事業承継型」M&Aにより日本の高度な技術を継承。中小企業を支援し社会貢献に寄与
- CVC*によるさらなる投資と育成を通じて新たな収益基盤を確立させる新規事業を創出

日本のモノづくりへの貢献を目指す

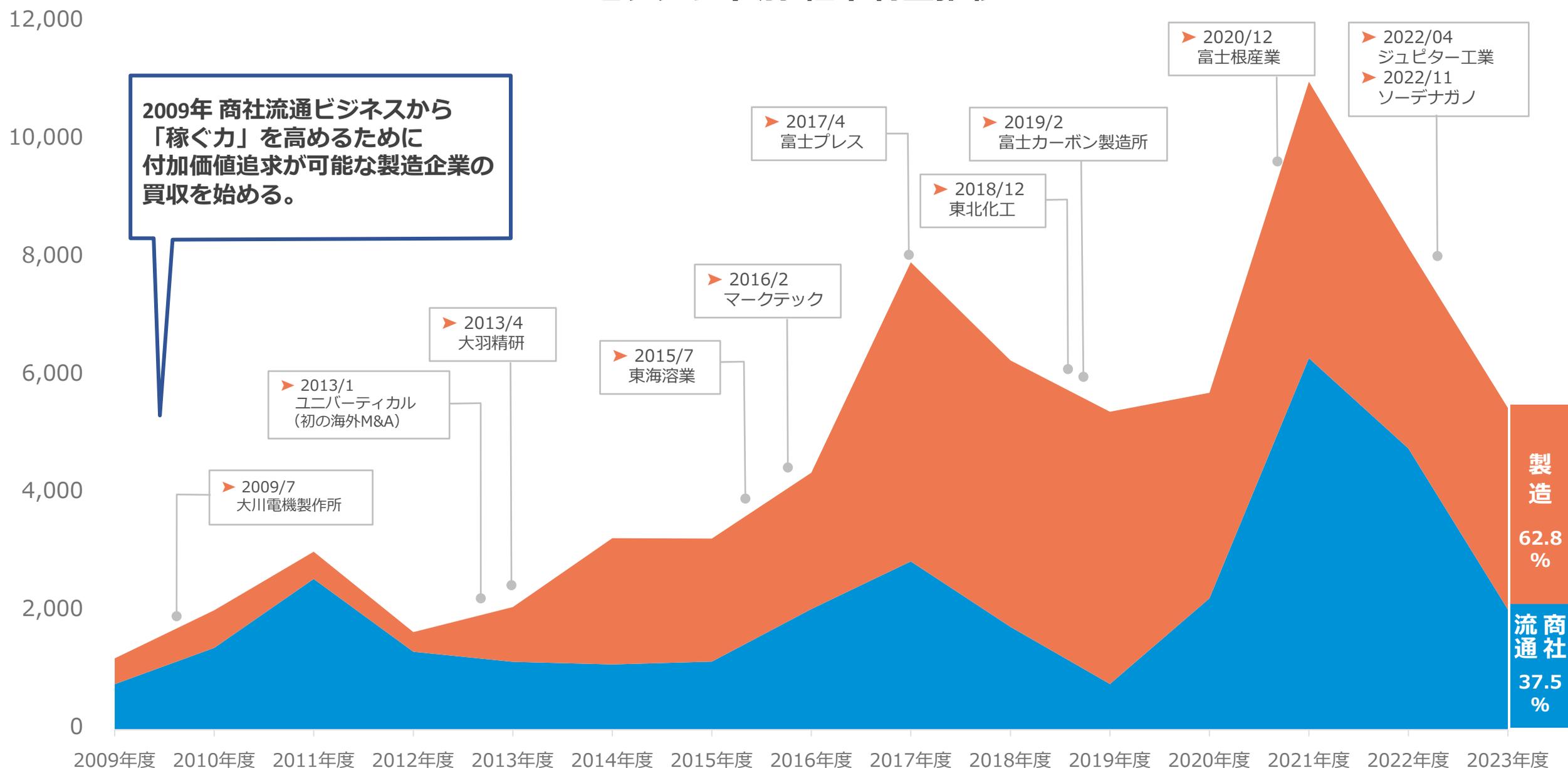
*CVC: コーポレートベンチャーキャピタル

成長志向の中堅企業①：M&Aにより製造セグメントが第2の柱に成長

非鉄金属取引主体の祖業 商社流通ビジネスを軸に「稼ぐ力」を高めるため業容拡大と付加価値追求を目的として製造会社を次々に買収。
第2の事業の柱として築く

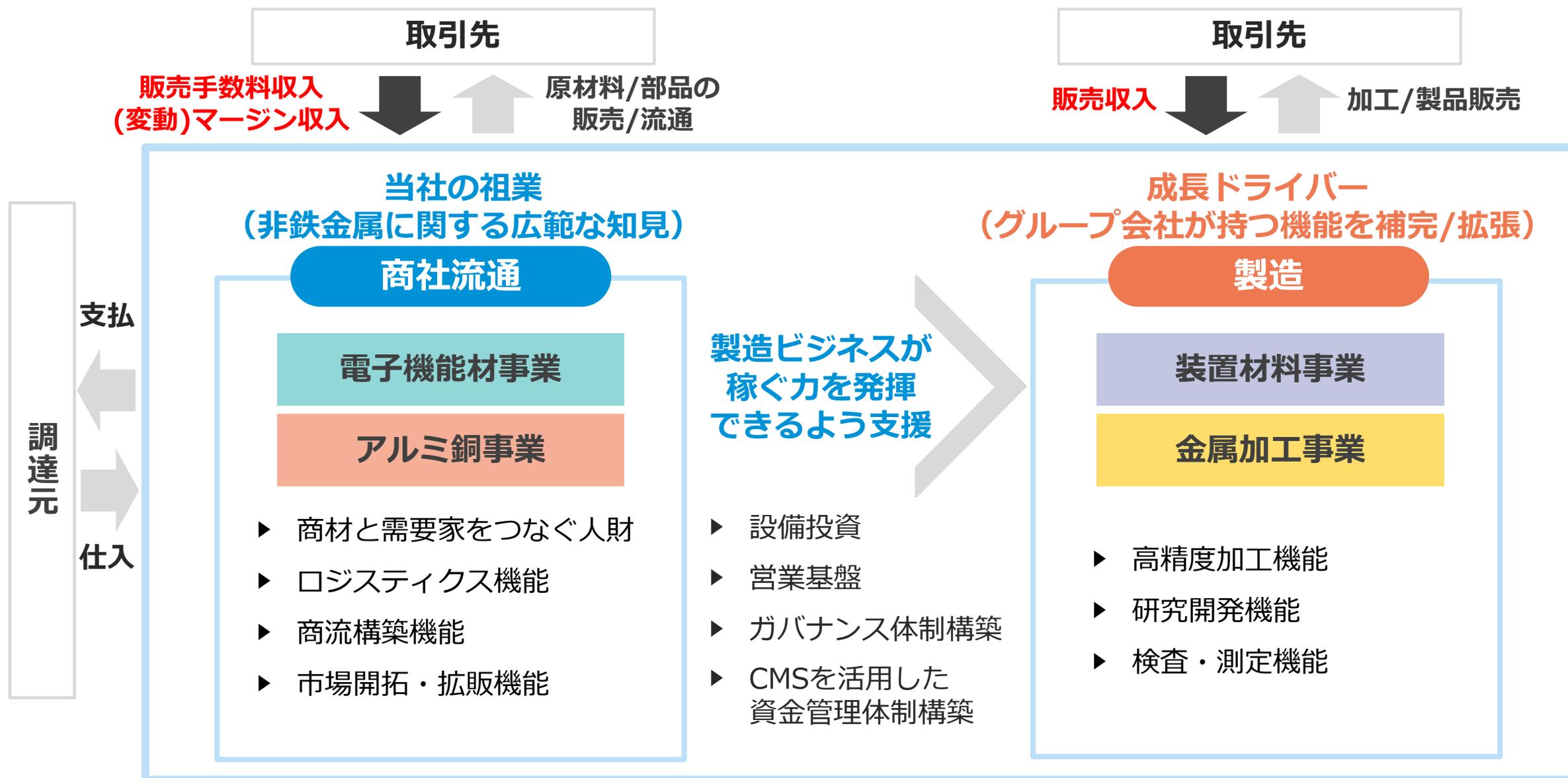
(百万円)

セグメント別 経常利益推移

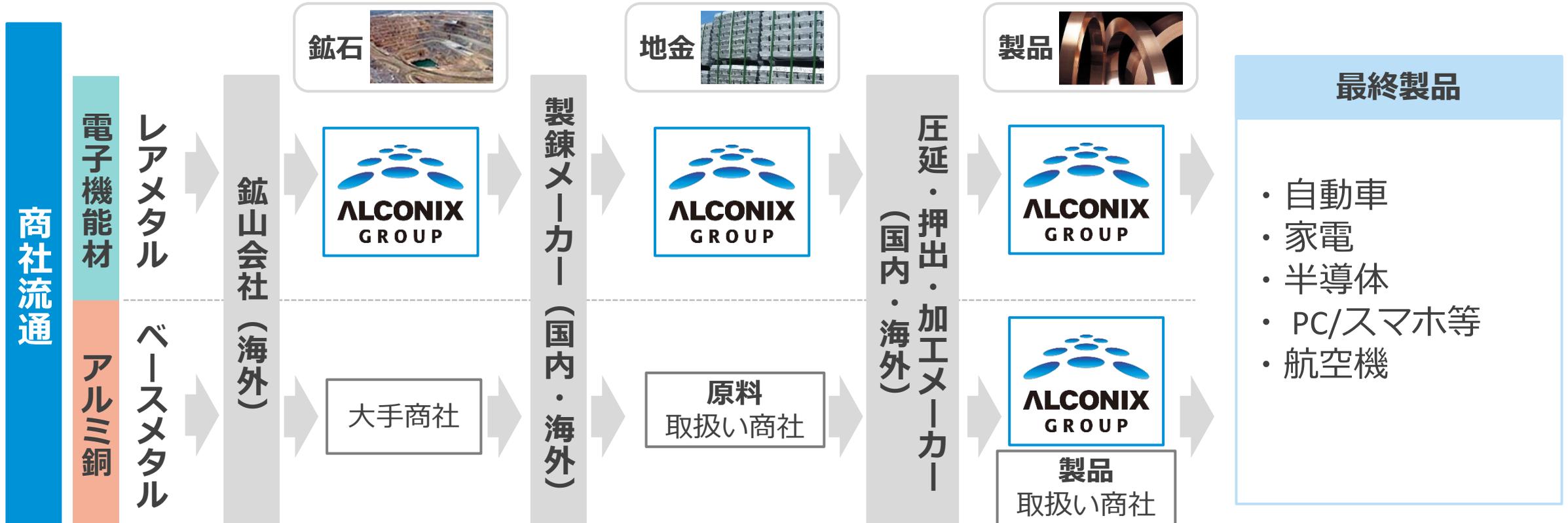


アルコニックス成長の仕組み

祖業である商社流通ビジネスで培った深い専門知識・マーケティング力・顧客対応力を活かし、収益基盤を強固なものにしながら、製造ビジネスで付加価値を提供し収益増加とバリューチェーンにおけるアルコニックスの存在価値を大きくしていく



非鉄金属業界における当社の位置づけ



アルコニックスグループの事業形態

商社流通

電子機能材事業

スマートフォン、車載用電池向け材料や
レアメタル・レアアースの鉱石・地金・製品を取扱う

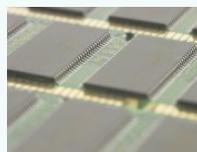
主要な事業領域



IT機器



二次電池
(蓄電池)



半導体・電子部品

製造

装置材料事業

自動車・鉄鋼関連向けに
製造業向け材料および検査装置を製造する

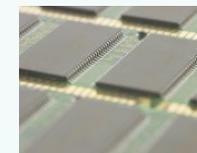
主要な事業領域



自動車



鉄鋼



半導体・電子部品

商社流通

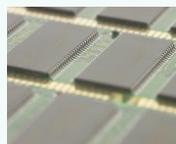
アルミ銅事業

アルミ圧延品/加工品、伸銅品、金属珪素、鉛地金、
アルミ/銅スクラップの取扱いとリサイクル事業を行う

主要な事業領域



自動車



半導体・電子部品



家電製品

製造

金属加工事業

半導体・自動車・空調向けに、
各種精密金属加工部品を加工・製造する

主要な事業領域



半導体製造装置
(実装装置含む)



自動車



業務用エアコン

事業セグメントの説明

		主な事業内容	機会とリスク
商社流通	電子機能材	<p>「電子材料」と「電子部品」が主要な事業分野。</p> <p>IT端末機器/EV自動車/ハイブリッド車に使用される電子部品/化合物半導体 / 結晶材料、これら材料の生産に不可欠なレアメタル（チタン/タングステン/モリブデン/レアアース等）の取扱いを行う。</p> <p>レアメタルに特化し鉱石～地金～中間原料までを一貫して取扱う子会社、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）運営子会社、CVCファンドが所属する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> EVや各種産業機器の高度電子化 他分野における高機能素材の需要の増加 需要家の原材料調達ルート複雑化 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料市況の変動 地政学的要因による供給制約の懸念
	アルミ銅	<p>「製品」と「原料」が主要な事業分野。</p> <p>「製品」分野は、アルミ圧延品/伸銅品/バルブ部品等の建設資機材の輸出、三国取引及び国内取引を行う。</p> <p>「原料」分野は、アルミ/銅スクラップ/アルミ再生地金その他、マグネシウム地金や金属珪素の取扱いを行う。</p> <p>国内流通や問屋機能を有する流通子会社、スクラップヤードを保有し非鉄スクラップリサイクルを手掛ける子会社が所属する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のCASE化に伴う非鉄需要の拡大 鉱石の品位低下と脱炭素に伴う非鉄スクラップ需要の増加 商社流通業における業界再編 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 市況要因による運転資金の増加 リサイクル事業の競争激化
製造	装置材料	<p>M&Aでグループ入りした主に製造業向け材料および検査装置製造子会社で構成される。</p> <p>自動車向け材料/部品/非破壊検査装置、半導体向け材料、鉄鋼や自動車部品向けマーキング装置の開発/製造を行う。</p> <p>金属加工事業と比較して、自動車及び鉄鋼関連分野の割合が高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金属加工事業とのシナジー効果 ニッチ分野での高シェア企業による利益最大化の追求 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車産業への高い傾注度 競合新技術による市場縮小の懸念 生産拠点や納入先が中国に集中傾向
	金属加工	<p>M&Aでグループ入りした主に切削・研削・プレス加工により非鉄金属関連部品を製造する子会社で構成される。</p> <p>IT端末機器/半導体製造装置/自動車/航空・宇宙/空調向けコア部品の加工・製造を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> EV生産台数増によるリチウムイオン電池の需要増 グループ間における技術協力の深化 顧客情報や営業拠点の共有による販路拡大 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の主要顧客、地域の動向に左右されやすい 地政学的リスクやそれに伴うサプライチェーンの混乱 EV用電池におけるリチウム代替の動き

M&Aの考え方

M&Aを通じた中小企業の再編・統合と事業の再構築で 筋肉質な企業への変化を支援

(参考) M&Aの事例①：アルコニクス

(東京都、卸売業、従業員数190人、売上高547億円、資本金58億1,020万円)

- 日商岩井の非鉄製品販売部門（卸売）が独立して1981年に設立。2001年に経営陣/ファンドによるMBOを経て独立後に上場。リーマンショック後に事業の先行きに危機感を覚え、業容転換と継続成長を目指し、同業他社のM&A（商流の拡大）、さらには、ニッチで優位性の高い中小製造業をM&A（製品群の拡大）する新たな拡大路線に舵を切った。
- 2009年より14年で16件のペースで、事業承継に悩んでいるが成長余地の高い中小製造業を中心にM&A（1度ものれんの減損なし）。グループ管理の陣容は、経理・会計含め、100人規模まで拡大。自社におけるノウハウ構築を進めるとともに、専門機関とのパートナーシップによってM&Aに習熟。将来に向け子会社の経営人材が不足することが予測され、現在、外部採用及び内部での経営人材育成に注力。
- 子会社の設備投資を構想面や資金面でサポートし、自社の流通機能によってグローバルに販路展開を支援。子会社の設備投資支援については、一定の政策ニーズあり。

M&Aを通じた取扱分野の拡大



経済産業省も 成長志向型企业である 当社のM&Aを評価

(参照：第17回 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会 資料4 P30)

過当競争の改善・規模の経済の実現

高付加価値化・高効率化
《 持続的に稼げる企業へ成長 》

経営資源の最適化・投資余力の確保

**大規模な成長投資と
所得向上・良質な雇用の創出**
《 成長能力の底上げ 》

【概要抜粋】

従業員2000人以下の企業を「中堅企業」と位置づけ産業競争力強化法を改正し成長意欲の高い企業を重点的に支援。

▷ 中堅・中小グループ化税制

- 株式取得価額の最大100%・10年間、損失準備金として積立可能に

※ 別途、特定中堅企業者が地域未来投資促進法の計画承認を受けた場合に設備投資減税を拡充
(最大6%の税額控除 ※現行は最大5%)

出所：経済産業省 「新たな事業の創出及び産業への投資を促進するための産業競争力強化法等の一部を改正する法律案の概要」
<https://www.meti.go.jp/press/2023/02/20240216001/20240216001-a.pdf>

など

CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）



従来のM&Aに加え、2021年8月CVCを設立。
アーリー・ミドルステージを中心に
素材・モノづくり分野の有望ベンチャー企業へ投資

当社CVCの 特徴

商社機能と製造機能の両面からのハンズオン支援
販売・調達、開発・製造・実証など幅広い分野で事業育成を支援

投資先 事業領域

素材（Material）

半導体、電子材料、車載関連を中心とした新素材

- ・カーボンナノチューブ
- ・発砲金属
- ・電池材料
- ・磁性材料

モノづくり（Manufacturing）

新たなイノベーションをもたらす製造・検査技術や
資源循環型社会に貢献するリサイクル技術

- ・AI/ロボティクス
- ・マテリアル インフォマティクス
- ・自動外見検査装置
- ・自動搬送ロボット
- ・金属リサイクル
- ・3Dプリンター
- ・水素発生装置
- ・ドローン

投資実績

運用資産 3,000百万円
投資実績 8件（2024年3月末現在）

 Novel Crystal Technology, Inc.

LINKWIZ
Robotics & Partners



Gaianixx

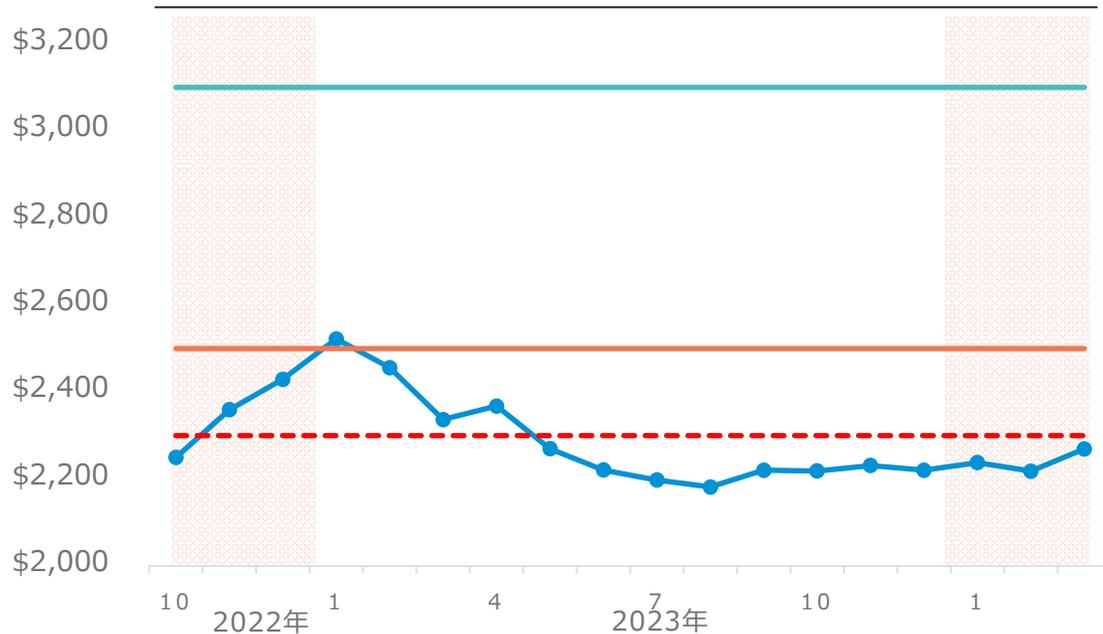
金属市況・為替の動向

	2023年3月期 通期	2024年3月期					
		1/2Q			3/4Q	4Q	
	実績平均値	期初想定 レート(A)	期間 平均値(B)	差異 (A)-(B)	想定レート (C)	期間平均値 (D)	差異 (C)-(D)
アルミニウム (US\$/MT)	2,511	2,500	2,243	△ 257	2,300	2,241	△ 59
銅 (US\$/MT)	8,548	9,000	8,443	△ 557	8,400	8,543	143
ニッケル (US\$/MT)	25,627	28,000	21,362	△ 6,638	21,000	16,610	△ 4,390
為替 (US\$/円)	135.47	130.00	141.00	11.00	140.00	148.61	8.61

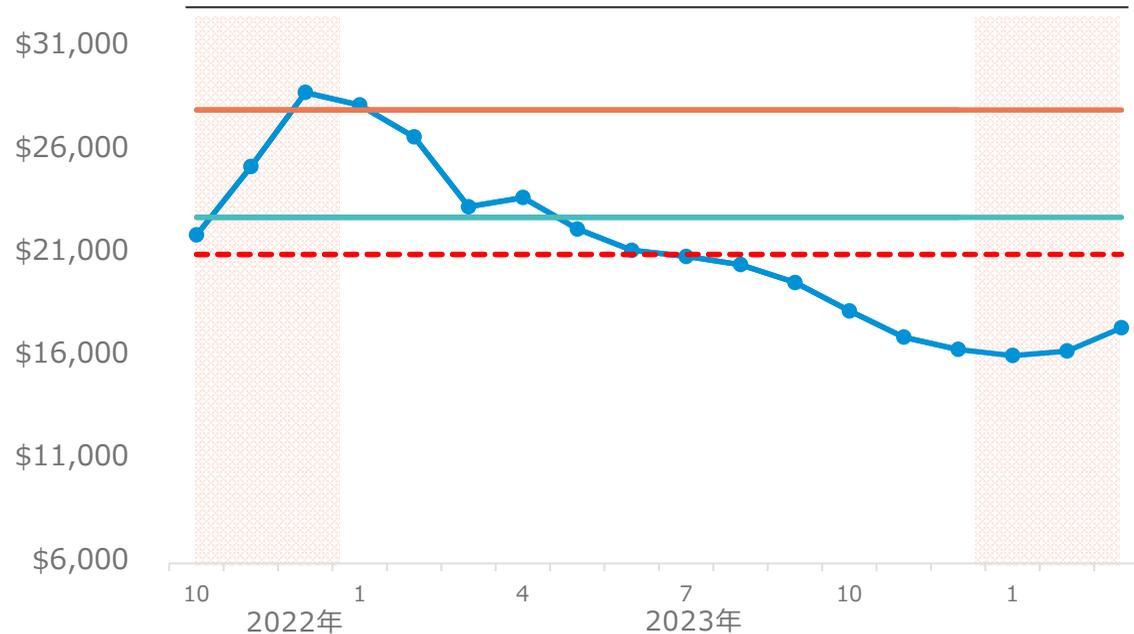
非鉄金属市況・為替の動向

— 2023年3月期予算想定レート
 — 2024年3月期予算想定レート
 - - - 2024年3月期修正後想定レート

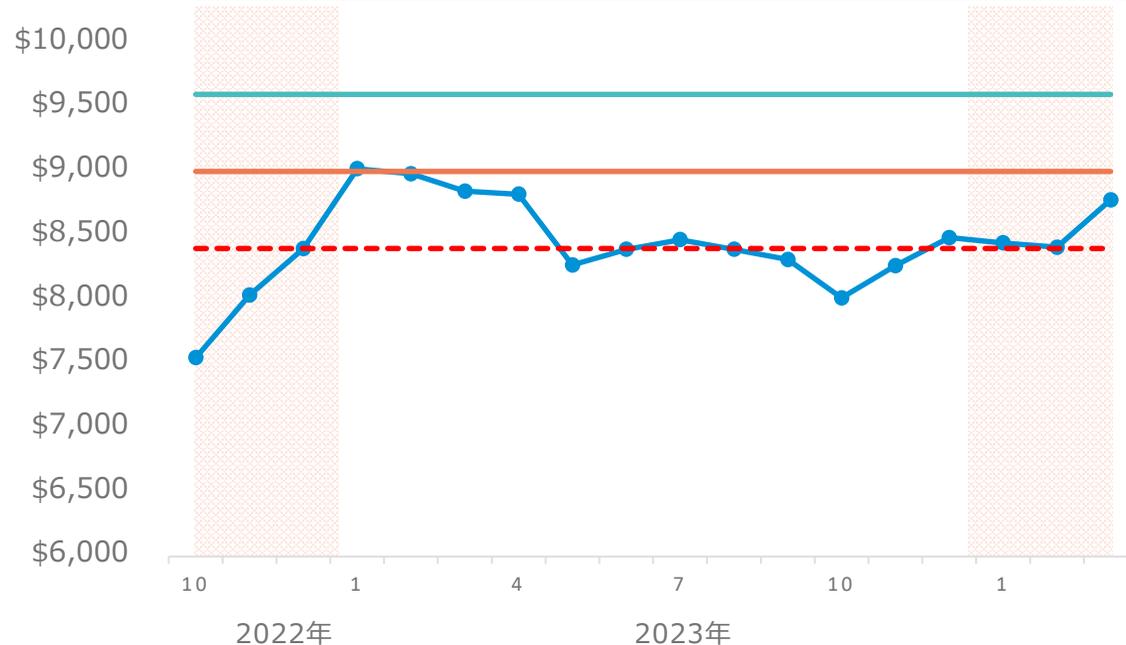
アルミ市況 (US \$ /MT)



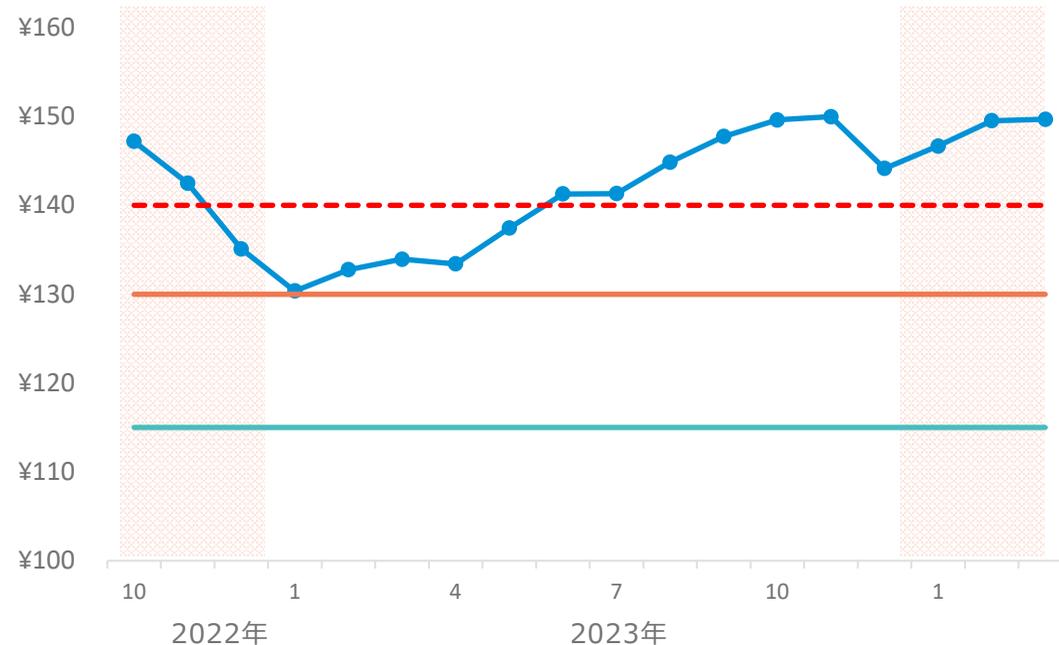
ニッケル市況 (US \$ /MT)



銅市況 (US \$ /MT)



為替 (US \$ /円)



シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただけますと幸いです。

[アルコニックス株式会社 | Shared Research](#)

本決算説明会のアーカイブ配信

本決算説明会のアーカイブ動画（日・英）を当社IRページや大和アイ・アール社のサイトにて後日配信予定です。

[IR情報 | アルコニックス株式会社 \(alconix.com\)](#)
[投資家向け説明会動画 | 大和インベスター・リレーションズ \(daiwair.co.jp\)](#)

IRに関するお問合せ

下記メールアドレスまでご連絡ください。

ir@alconix.com